

ECS LIVA Z | Ubuntu Server インストール作業記録

2026 年 10 月 28 日 / 写真を確認しながら実施した手順の再構成

1. 構成と作業範囲

本体	ECS LIVA Z (Intel Celeron N4200/メモリ4GB)
インストール OS	Ubuntu Server 24.04.5 LTS (x86_64、Linux 6.8 系)
内蔵ストレージ	約 57.6GB (インストール先)
インストールメディア	USB メモリー (画面では ELECOM 約 115.6GB)
操作方法	BIOS 画面と Ubuntu Server テキストインストーラー
インストール後	ユーザー j11fgx、ホスト名 homeserver、SSH 導入

注：以下は会話中に共有された画面写真と操作報告から再構成した記録です。写真そのものは本書には貼り付けていません。画面に写っていない選択内容は断定していません。

2. BIOS の起動設定

① BIOS で USB 起動を指定

Aptio Setup Utility の「ブート」画面で、ブートオプション #1 を「USB フラッシュ」に設定。ブートモードは「UEFI」、オペレーティングシステムの選択は「Linux」。設定を保存して再起動した。

- USB メモリーはあらかじめ Ubuntu Server インストーラー作成済み。
- 「AC 停電解消後の回復」をパワーオンにしても自動起動しない問題は未解決のまま、インストールを優先した。

② Ubuntu インストーラーの起動

起動メニューに「Try or Install Ubuntu Server」「Ubuntu Server with the HWE kernel」などが表示。通常の「Try or Install Ubuntu Server」で起動した。起動途中で cloud-init の待機表示が出たが、しばらくするとセットアップ画面に進んだ。

3. インストーラーの各画面

③ Language (言語)

日本語が候補にないため「English」を選択。

④ Keyboard configuration (キーボード)

日本語キーボードを使用。「Layout」は Japanese を選択するのが適切。「Identify keyboard」は押されたキーから配列を自動判定する補助機能で、必須ではない。※最終的に保存した配列は写真からは確認できない。

⑤ Choose the type of installation

標準の「Ubuntu Server」を選択。「Ubuntu Server (minimized)」は選ばず、「Search for third-party drivers」も未チェックのままとした。

⑥ Network configuration

ネットワーク設定を通過。インストール後に無線 LAN インターフェース wlp2s0 が 192.168.1.86 を取得していることを確認。

⑦ Ubuntu archive mirror configuration

ミラーアドレスは <http://ph.archive.ubuntu.com/ubuntu/>。「This mirror location passed tests.」が表示され、パッケージ一覧取得後に「Done」で次へ進んだ。

⑧ Storage configuration（ディスク）

「Use an entire disk」を使用し、約 57.617GB の内蔵ディスクを対象にした。LVM のチェックは外し、暗号化も使用しない構成で進めた。

- ファイルシステム概要：/boot/efi 約 1.049GB（FAT32）、/ 約 56.565GB（ext4）。
- 約 115.6GB の ELECOM USB メモリーはインストール元であり、インストール先ではない。
- 既存 Windows のパーティションは消去される構成。ディスク選択後の確定操作で書き込みが開始する。

⑨ Profile configuration（ユーザー登録）

ログインユーザー名は「ji1fgx」、サーバー名は「homeserver」とした。「Your name」は表示名を入力し、パスワードは 2 回入力した。※パスワードは本書に記録しない。

⑩ Upgrade to Ubuntu Pro

「Skip for now」を選択。Ubuntu Pro は後から有効化可能。

⑪ SSH configuration

「Install OpenSSH server」にチェックを入れた。「Allow password authentication over SSH」は有効のまま。SSH 公開鍵のインポートは行わず、後日設定することにした。

⑫ Featured Server Snaps

microk8s、nextcloud、docker 関連などの追加 Snap は選択せず、そのまま次へ進んだ。

4. インストールと初回起動

⑬ インストールの実行

「Install Kernel」などの進行状況が表示された。ログには GRUB の導入、OpenSSH Server のインストール、セキュリティ更新などが記録された。最終画面に「Reboot Now」が表示された。

⑭ 再起動時の読み取りエラー

USB メモリーを抜いて再起動した際、一時的に「SQUASHFS error: Failed to read block ... -5」が繰り返し表示された。これはインストーラーのライブ環境が USB 内のデータを読もうとして失敗した可能性が高い。結果的に内蔵ディスクから Ubuntu が起動できた。

⑮ Ubuntu へのログイン

Ubuntu 24.04.5 LTS の「homeserver login:」画面で ji1fgx とパスワードを入力し、ログインに成功。初回起動では cloud-init による SSH ホスト鍵のフィンガープリント等が表示された。これはユーザー用の SSH 秘密鍵を作成したという意味ではない。

5. インストール直後の確認結果

プロンプト	ji1fgx@homeserver:~\$
OS	Ubuntu 24.04.5 LTS
カーネル	6.8.0-147-generic（初回ログイン時）
IP アドレス	192.168.1.86（wlp2s0 / Wi-Fi）
ルートディスク	約 55.38GB、使用率 11.5%
メモリー使用率	6%
CPU 温度	54～56℃（初回確認時）

6. 続きの作業（別文書に記録）

Tera Term からパスワード認証でログイン後、`sudo apt update`、`sudo apt upgrade -y` を実行。Asia/Manila へタイムゾーンを変更し、NTP 同期が正常であることを確認した。詳細は「ECS LIVA Z Ubuntu Server 初期設定作業記録」を参照。

7. 補足・今後の課題

- BIOS の停電復帰後自動電源 ON は、設定保存後も動作せず未解決。
- SSH 公開鍵認証を設定し、動作確認後に必要に応じてパスワード認証を停止する。
- Tailscale VPN、Samba 共有、IP アドレスの固定化（DHCP 予約など）は今後の作業。
- 再起動時にインストール USB を抜くタイミングは、画面の指示に従い、必要なら Enter キーで処理を進める。